

令和4年2月4日

保護者様

三木市立吉川小学校
校長 長谷川 珠里

吉川小学校開校を迎えて（37）

向春の候、保護者の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校教育にご理解ご協力をいただき深く感謝いたします。

新型コロナウイルスの感染状況は第6波として、種々の報道がなされていますが、感染症対策を講じながら学びを継続しています。日々の健康観察から、体調不良に係る送迎等にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

さて、本年度もあと2か月となり、次年度には東吉川小学校との統合を控えています。開校後の様子やご協力いただきたい事などを、前回まで（4/16付から1/28付まで計36回）に加えて、これから少しずつお伝えしていきますので、ご確認をお願いします。

なお、本校のホームページにも同様のものをUPしていますので、過去の文書も確認いただけます。必要に応じてご確認ください。

☆学校HP（ホームページ）アドレス <http://www.miki.ed.jp/el/yokawa/>

☆検索窓に「吉川小学校」を入力して検索ください。

1 新型コロナウイルス感染症対策と学びの継続

（1）授業の様子

2月1日（火）の授業の様子です。まん延防止措置期間ですので、校外での活動やゲストティーチャーに来校いただいたの活動は控えています。学びは継続しています。

1年



2年



3年



4年



家族に風邪症状があり、自分は元気ですが出席できない児童へは授業をオンラインで配信しています。定点での配信となり、対面での授業のようにはいきませんが、学びの継続につなげていきたいと考えています。

加えて、「吉川小学校開校を迎えて（7）」でもお伝えしている「オンラインでの授業参加についてのお願い」を再確認願います。

- 1 ライブ配信（当日に直接中継をする配信）は編集を行わずに撮ったものをそのまま配信するため、音楽（BGMを含む）が公衆送信されることになり、著作権法に触れる可能性がある場合等、一部ライブ配信できない場合があります。
- 2 普段の教室の様子をそのまま配信していますので、録画したり写真を撮ったり等はお控えください。また、授業の様子から児童を特定した発言等にはご配慮下さい。（例：Aさんはよく机に顔をふせている。Bさんは先生によく注意されている。等）
- 3 学習補充のため、自宅で授業に参加ができる取組としていますので、その趣旨をご理解いただくとともに、お気づきの事があれば学校までお知らせください。
- 4 基本的には児童のタブレットを使用しての参加になりますが、自宅のパソコンでの対応も可能です。その際は児童のアカウントでログインしてください。

5年



6年



新型コロナウイルスの感染急拡大に伴い、三木市内の小中学校では、臨時休校や学級閉鎖が相次いでいる。家族が発熱した場合も出席停止となり、学校現場ではオンラインを使い、子どもたちの学習機会確保に努めている。(長沢伸一)

コロナ感染拡大で相次ぐ休校、学級閉鎖 オンラインで学習継続

■ 三木市内の小中学校



授業をオンラインでライブ配信する(吉川小学校提供、一部を加工)

欠席児童に授業ライブ配信も

第6波は子どもたちの感染が多く、市内では今年1月以降、31日までに臨時休校7校、学級閉鎖11クラス(6校)を数える。

影響が広がる中、臨時休校の小中学校では午前中に30分授業を複数行い、午後からは学習課題をコミュニケーションツールで共有して自習しなどの対応を取っている。放課後にオンラインで補充学習を実施している学校もあり、市教委の担当者は「オンラインを活用し、子どもたちの学習機会を継続できるようにしたい」とする。

家族が濃厚接触者となったたり、家族に発熱やかぜの症状が出たりして出席停止となる児童も増えている。

2021年度に開校した吉川小学校では、昨年5月から欠席者対象にオンラインで授業を配信している。欠席連絡時に希望すれば、ライブ配信される授業を自宅で受けられる仕組み。夏休み中もオンラインで学級活動を行った。

同校では、昨年4月末に授業参観をオンラインで行った。教職員や保護者にも慣れない人も多く、画面の操作方法や音質、画面などさまざまな改善点が確認されたという。

長谷川珠里校長は「4月の授業参観から改善を進めており、スムーズに対応できている。オンラインを進めると、あらためて対面授業の良さを感じるが、今の感染状況では、学びを止めないことが大切」と話している。

「まん延防止措置期間で学校へ取材に行けない。」という神戸新聞社の電話取材に協力してほしいという市教委からの依頼で対応しました。

開校初年度当初に急遽、実施しましたオンライン参観が、現在の取組を進めるきっかけになったと思います。急な予定変更になりましたが、皆様のご協力のおかげで市内でも一番早く、オンラインでの授業参観や欠席者へのオンライン対応の体制を整える事ができたと思います。ありがとうございました。

本校の教職員も限られた準備期間でよくやってくれたと思います。初めての事や不慣れな事について取り組む方法は、

- ① 準備期間をとって体制を整えてから、実施する。
- ② まずはやってみて課題を整理し、解決していく。等があると思います。

学校はどちらかという①が多いと思います。

①は安定感がありますが、見方を変えれば、変化の激しい時代に乗り遅れがちだと私は思います。①に加えて、②を取り入れながら、学校運営を進めていきたいと考えています。ご理解・ご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

2 登下校の安全について

先日、ある保護者から次のような連絡をいただきました。

保護者：昨日の朝、通学バスの停留所近くで自家用車の事故がありました。通学バスは発車していましたが、子ども達にケガ等は無かったので良かったです。今のバス停は見通しが悪いので、少しでも安全な場所への移動をお願いしたいと思います。

学校：ご連絡をいただきありがとうございます。下校時に現地確認に行きますので、代案等を教えてください。

※教頭が現地確認に行きました。地区役員を交えて、今後は地区での協議を進めていただき、バス停の代案（少し離れた直線道路上等）の了解が得られましたら、市教委の担当課を通じて、バス会社へ指示します。変更の時期については、別途お知らせします。迅速に対応する事とじっくり協議を深める事があると思います。お気づきの事は学校へお伝えいただくとともに、各地区での情報共有をお願いします。



オンラインでの味噌づくり体験(2/3)



体育委員会スポーツチャレンジ会(1/27)